-1-
平成１８年９月９日赤坂見附駅頭での街頭広報活動のご報告
「つくる会」東京支部の街頭広報活動第２段は、ご案内のとおり９月９日、赤坂見附駅頭で行われました。
８月１５日の街頭広報活動の大成功を再び再現しようとの意気込みでしたが、何と言っても人口密集度の違いに
は抗すべくもなく、その上、外国人の割合が多いため思うようには効果が上がらなかった一日でした。
当日配布したビラの内容は、先刻ご承知かと思いますが 「親王殿下ご誕生慶祝」を前面に出して呼びかけまし、
たが、ビラを差し出しても受け取ってくれるのは中年のご婦人方ばかりで、若い人たちにはそっぽを向かれ、日
本人風外国人にはなんのこっちゃと怪訝な目つきを返されるだけというかなり過酷な環境にもかかわらず 「」 、、
参加者の士気は衰えることなく、２時から５時まで蒸し暑い残暑に耐えて頑張り抜いてくださいました。
「どうしてこんな辺鄙な場所を選んだのか！ 責任者、出てこい！」と言いたいのをグッと我慢して頑張ってく
れた同志達の熱き心に、広報部は感謝です。終わった後のあの旨い生ビールを味わえた幸せに免じてご容赦を。
用意したビラは「親王様ご誕生慶祝」が５００部 「誇りある日本再生を新首相に託します」が５００部、
他に 「皇室典範と皇位継承の論点」の冊子を２５０部でしたが、ビラはそれぞれ半分、冊子は全て配布しまし、
た。参加者８人ですから一人当たり３０部ちょっと配ったことになります。
しかし、赤坂見附駅頭での街頭広報活動は希なケースであり、その意味では注目を集めたようです。
例の６本の幟と同志の顔を立ち止まって交互にしげしげと眺めている人たちも多く、赤坂の歓楽街にはちょっと
した刺激を与えたようでした。
あまり効果は上がらなかった一日でしたが、皆で声高らかに冷たいビールで乾杯し、互いの健闘をたたえ合った
（と言うか慰め合った）のは美しい光景ではありました。例のごとく、これからの運動方針や、政治論議に花が
咲き、侃々諤々と楽しい時間を共有しましたが、今日のような私たちの地味な活動だけでは 「つくる会」を取、
り巻く、先が見えない霧のような一抹の不安を払拭することは出来そうもありません。
今後は街頭広報活動を補完するような多彩な運動を 「倦まず弛まず諦めず」の支部スローガンに則って繰り広、
げていきたいと思います。
何はともあれ、本日参加してくださった皆さんに感謝です。
文責石原